

2025年9月期 決算説明資料

Financial results briefing materials for the fiscal year ended September 2025

2025年11月14日

Circulate
the possibilities



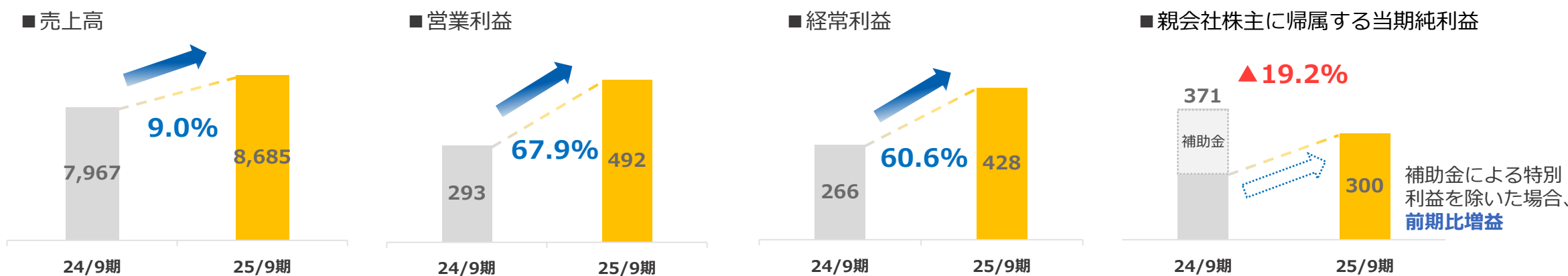
ASK

株式会社アサカ理研

証券コード：5724

連結損益計算書(前期比較)

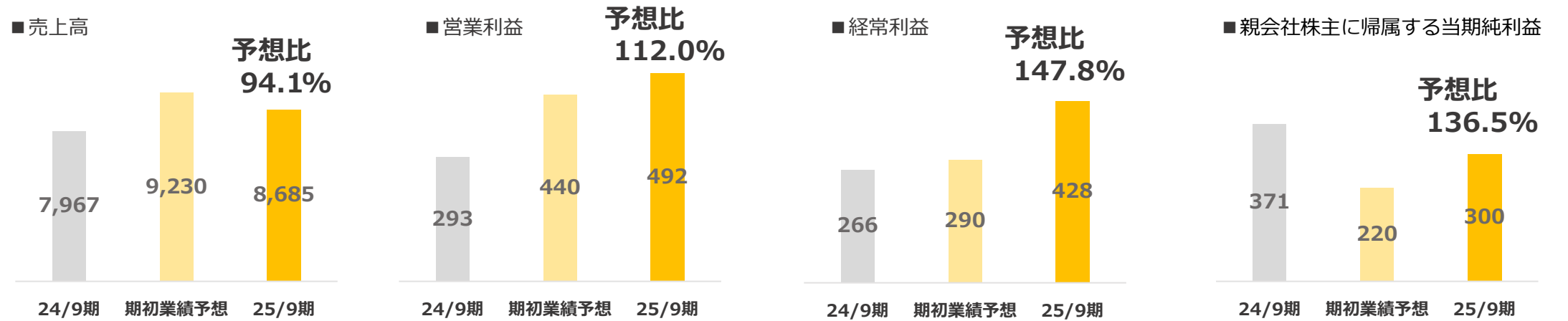
(百万円)	24/9期	25/9期	増減	増減率
売上高	7,967	8,685	718	9.0%
営業利益	293	492	199	67.9%
経常利益	266	428	161	60.6%
(経常利益率)	3.4%	4.9%	1.5pt	-
親会社株主に帰属する当期純利益	371	300	▲71	▲19.2%



- 金及び銅の相場上昇により売上高は増収、営業利益・経常利益は増益
- 当期純利益は2024年9月期に補助金等の特別利益244百万円を計上したことで前期比で減益

連結損益計算書(期初業績予想比較)

(百万円)	期初業績予想	25/9期	予想比
売上高	9,230	8,685	94.1%
営業利益	440	492	112.0%
経常利益	290	428	147.8%
(経常利益率)	3.1%	4.9%	1.8pt
親会社株主に帰属する当期純利益	220	300	136.5%



- 取引先の減産基調の影響により売上高は期初業績予想を下回る
- 金及び銅の価格が予想を上回ったこと及び全社的な経費削減の取り組みにより、期初業績予想を上回る利益を確保

各セグメント別実績

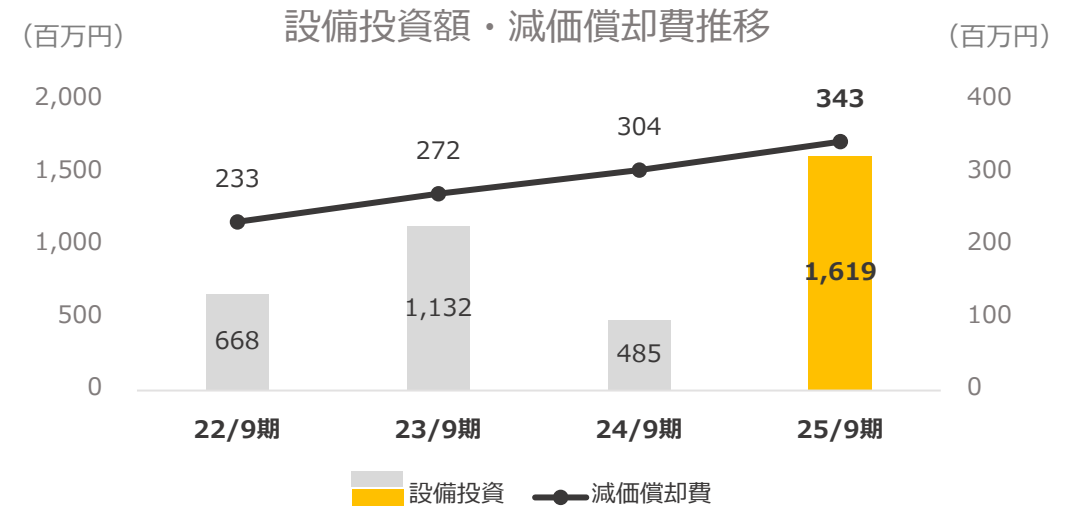
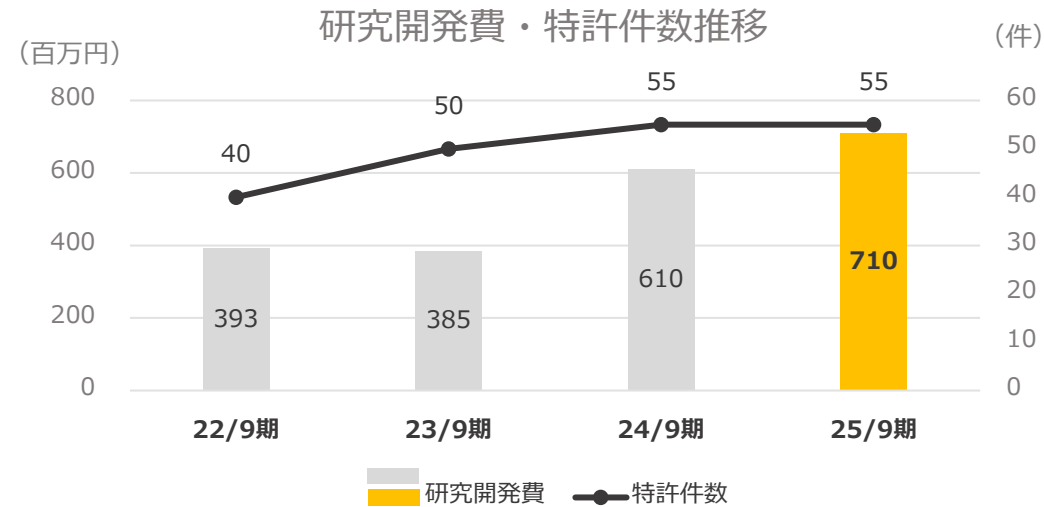


(百万円)

※各セグメントの売上高についてはセグメント間取引を含んでおります

貴金属 事業		24/9期	25/9期	増減	+ 金を中心とした貴金属相場の上昇により増収増益 + 高付加価値製品の販売数量増加により利益率が向上
	売上高	6,530	7,267	737 11.3%	
	セグメント利益	142	301	159 111.9%	
環境事業		24/9期	25/9期	増減	+ 塩化第二鉄液の販売数量の増加 - 銅ペレットの生産数量の減少
	売上高	1,205	1,202	▲2 ▲0.2%	
	セグメント利益	74	71	▲3 ▲5.1%	
システム 事業		24/9期	25/9期	増減	- 前期に大型案件が一服し 品質管理システムの売上減少
	売上高	216	196	▲20 ▲9.5%	
	セグメント利益	17	16	▲0 ▲4.9%	

2025年9月期 研究開発費・設備投資・減価償却費



※特許件数はLiB再生事業の研究開発による出願件数の累計値を記載しています。
 ※特許件数は公開された件数のみであり、未公開の件数は含まれません。

研究開発費：LiB再生事業の実証試験等の研究開発活動に積極投資を継続
 連続実験の実施や研究開発に伴う消耗品費の増加等により、前期を上回る

設備投資：LiB再生事業の量産プラントであるいわき工場への投資により前期を上回る

減価償却費：LiB再生事業の実証試験用設備の稼働等により、前期を上回る
 (いわき工場への投資設備分は建設仮勘定の状態)

連結貸借対照表



(百万円)

	24/9期	25/9期	増減	要因
資産合計	8,543	13,806	5,262	LiB再生事業の借入による資産増加
流動資産合計	3,724	7,922	4,197	現預金、商品及び製品の増加、金相場の高騰
固定資産合計	4,819	5,884	1,064	
有形固定資産	4,282	5,502	1,220	LiB再生事業の設備取得に伴う建設仮勘定の増加
無形固定資産	77	55	▲ 21	
その他	460	325	▲ 134	保険解約に伴う減少
負債合計	3,894	8,880	4,986	
流動負債	1,910	3,085	1,174	金(Au)の借入増加
固定負債	1,983	5,795	3,811	長期借入金の増加
純資産合計	4,649	4,925	276	
自己資本比率	53.96	35.39	▲18.57	有利子負債増加に伴い
D/Eレシオ（負債資本倍率）	0.42	1.15	0.73	自己資本比率低下、D/Eレシオ上昇

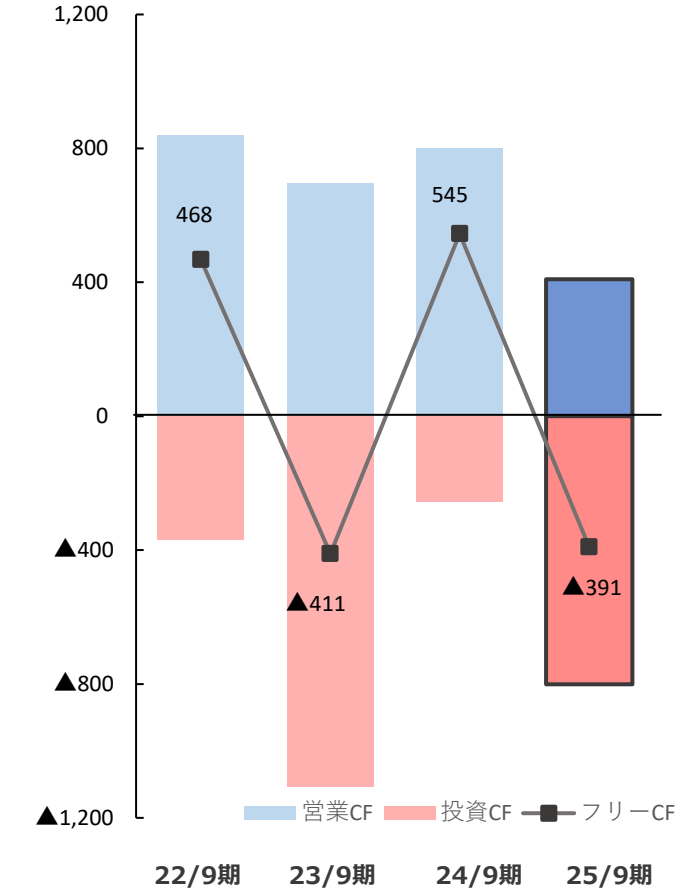
- LiB再生事業に係る設備投資資金の調達により、流動資産、固定負債が増加
- LiB再生事業に係る設備は稼働開始まで建設仮勘定として計上
- 金製品への加工量増加により、金(Au)の借入数量が増加

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	22/9期	23/9期	24/9期	25/9期
営業活動によるCF	838	697	799	409
税前当期純利益	802	386	508	380
減価償却費	232	271	304	343
その他	▲196	39	▲13	▲ 313
投資活動によるCF	▲369	▲1,108	▲254	▲ 801
有形固定資産の取得	▲589	▲1,054	▲475	▲ 1,541
その他	219	▲53	220	740
財務活動によるCF	▲179	202	▲785	3,551
借入金借入・返済収支	▲120	438	▲711	3,697
その他	▲58	▲235	▲73	▲ 146
現金及び現金同等物	1,346	1,138	890	4,050
フリーCF	468	▲411	545	▲ 391

(百万円)



- LiB再生事業に係る設備投資資金の調達により、現金及び現金同等物は増加
- 投資活動によるCFのその他は定期預金の払い戻し及び保険積立金の解約による収入

2026年9月期 連結業績予想



(百万円)

	25/9期 実績	26/9期 予想	前期比	
			増減	増減率
売上高	8,685	8,800	115	1.3%
営業利益	492	400	▲ 92	▲18.7%
経常利益	428	200	▲ 228	▲53.3%
(利益率)	(4.9%)	(2.3%)	(▲2.7pt)	
親会社株主に帰属する当期純利益	300	190	▲ 110	▲36.7%
1株当たり当期純利益(円)	59.77	37.80	▲21.97	▲36.8%

売上高 : 環境事業、システム事業での製品販売増加に伴い増収の見通し

営業利益 : LiB再生事業の工場稼働開始に向け、
労務費等の準備費用が増加することにより減益の見通し

経常利益 : LiB再生事業への投資に伴う借入の支払利息の増加、
2025年9月期に保険解約返戻金を計上した反動により減益の見通し

各セグメント別予想

各セグメントの売上高はセグメント間取引を含んでおります (百万円)

	25/9期	26/9期	前期比
貴金属事業	売上高	7,267	▲80 ▲1.1%
	セグメント利益	301	▲106 ▲35.2%
環境事業	売上高	1,201	226 18.8%
	セグメント利益	71	▲51 ▲71.8%
システム事業等	売上高	543	145 26.7%
	セグメント利益	55	▲70 -

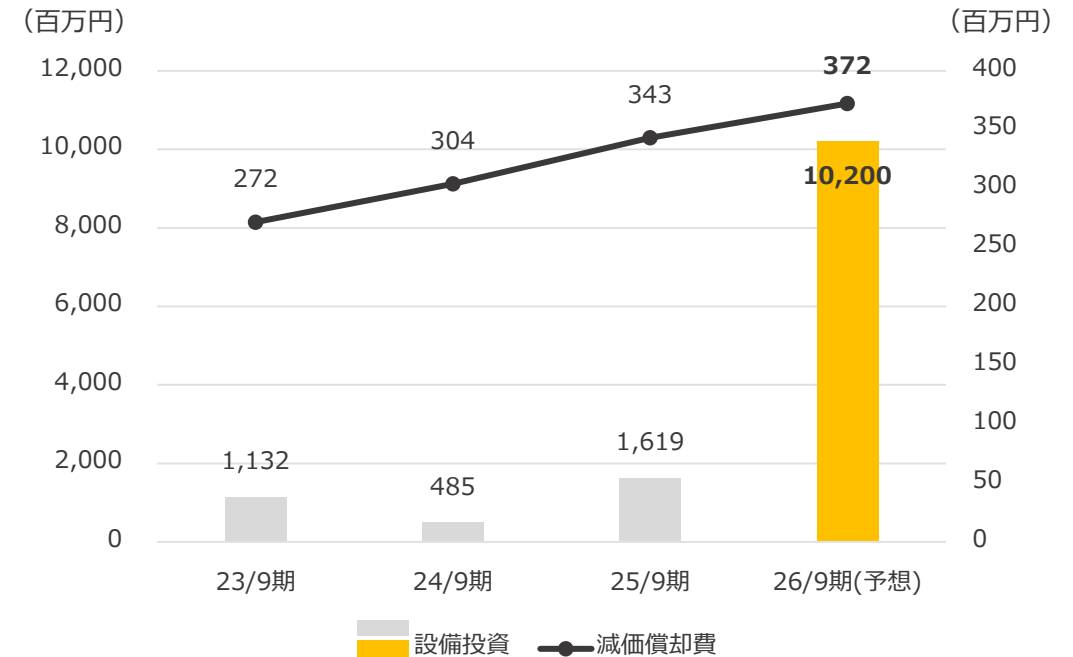
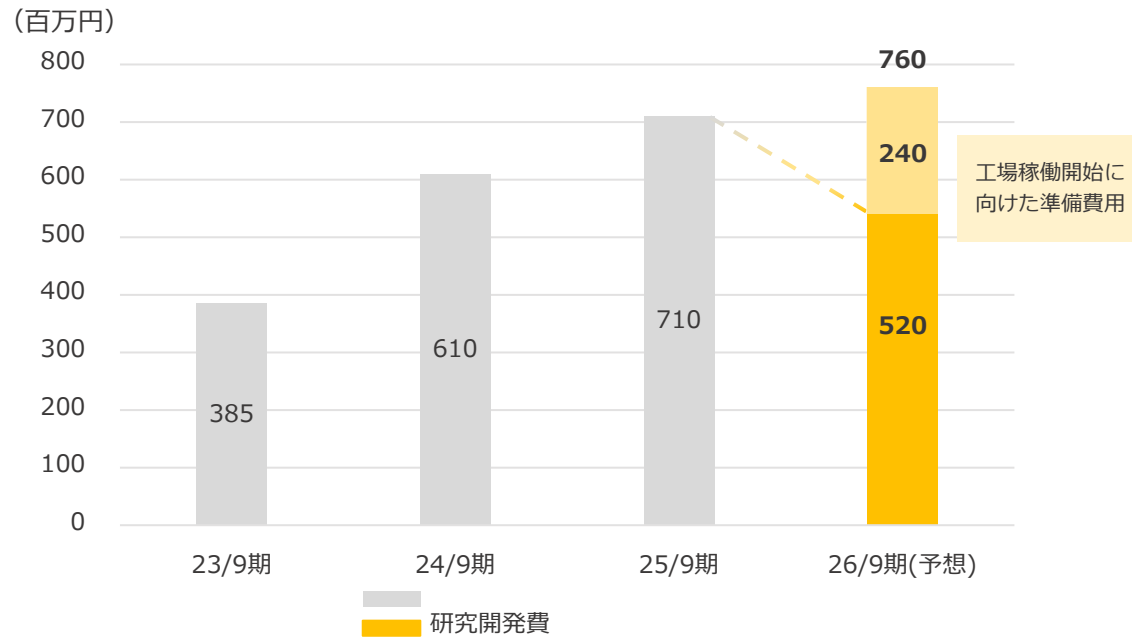
± 金を返却する取引(加工賃売上)が拡大し
金の販売を伴う取引が縮小することでの減収
- 全社間接費用配賦※の増加により減益

+ 銅及び再生した薬液の販売量増加に伴い増収
- 全社間接費用配賦の増加により減益

+ システム事業の売上増加に伴い増収
- 全社間接費用配賦の増加により減益

※全社間接費用配賦はLiB再生事業開始に向けた準備費用等によるもの

2026年9月期 研究開発費・設備投資・減価償却費



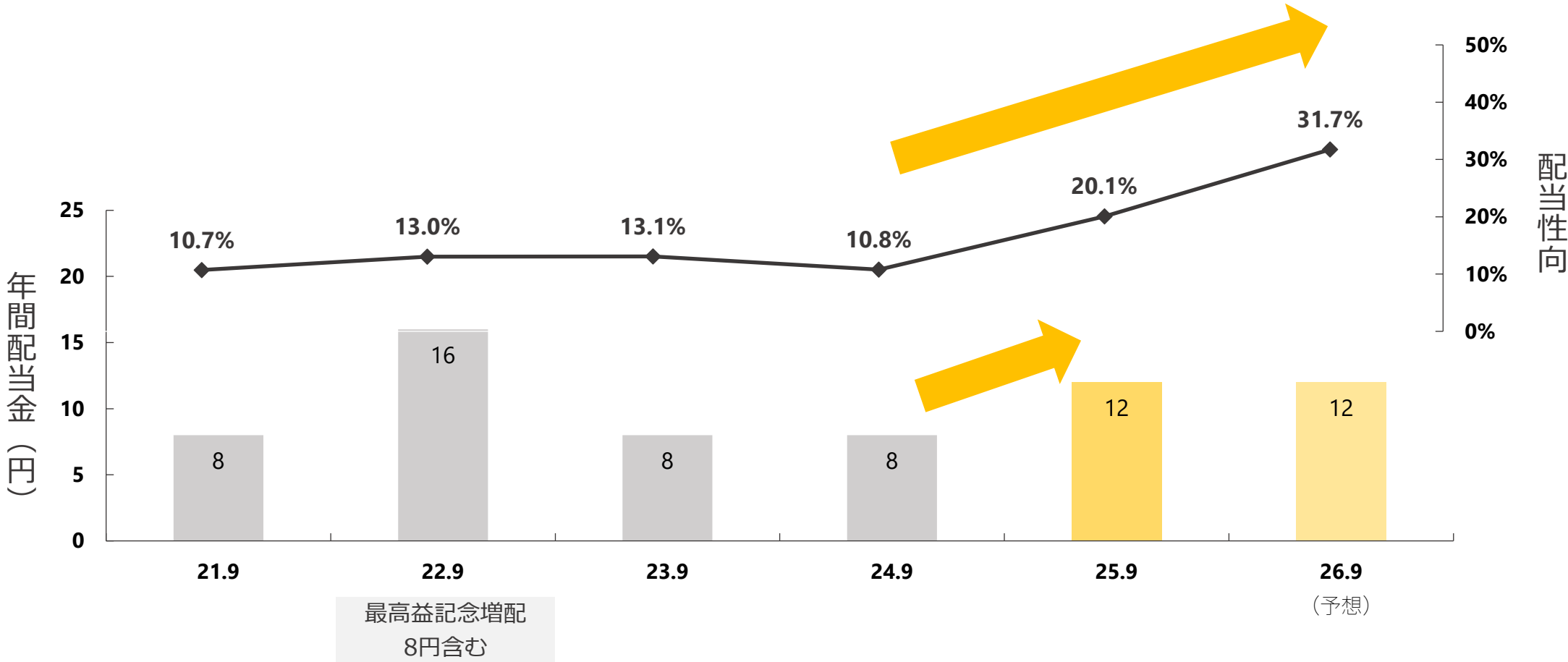
研究開発費：LiB再生事業の実証試験等の研究開発活動への投資を継続
同事業の工場稼働開始に向け、労務費等の準備費用を含めると前期を上回る見込み

設備投資：LiB再生事業のいわき工場の増設及び量産設備への投資に伴い前期を上回る見込み
(同事業への投資総額は、2026年9月期までに約95億円を予定)

減価償却費：LiB再生事業の実証試験用設備の稼働等により、前期を上回る見込み

配当金と配当性向の推移

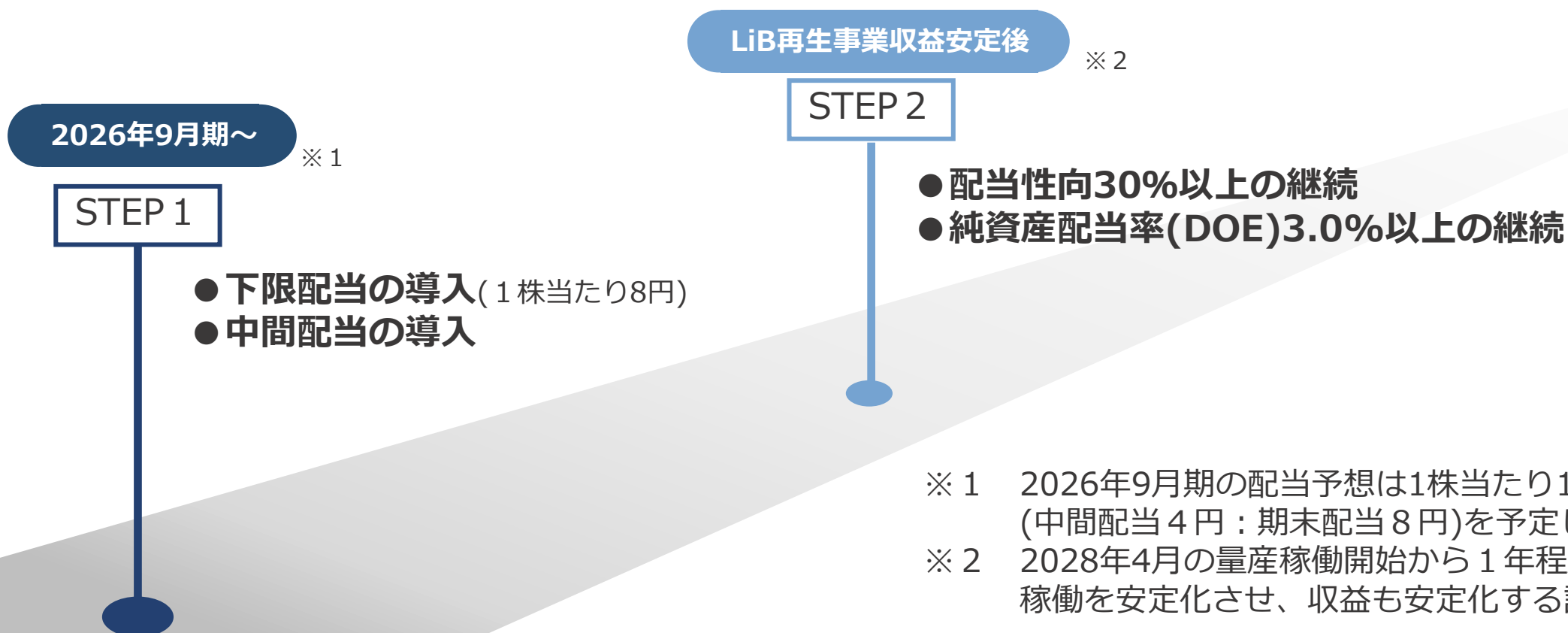
- 2025年9月期は当初配当予想8円から12円に増配
- 2026年9月期は配当方針を策定し、12円の配当を継続



配当方針



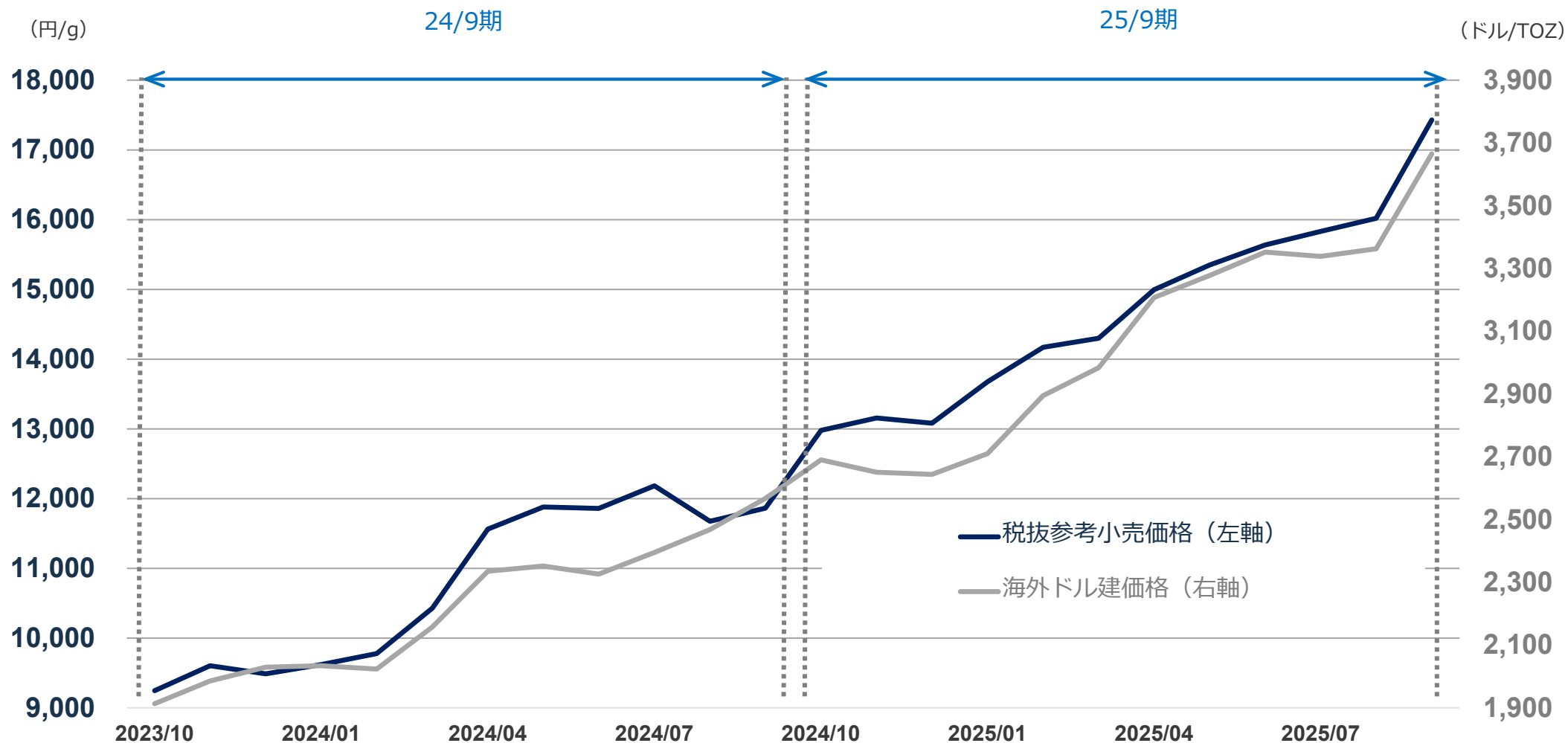
株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付け、資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、安定的かつ機動的な配当の継続実施を原則とし、段階的に株主の皆様への利益還元を強化いたします。



- ※1 2026年9月期の配当予想は1株当たり12円(中間配当4円：期末配当8円)を予定しています
- ※2 2028年4月の量産稼働開始から1年程度で稼働を安定化させ、収益も安定化する計画

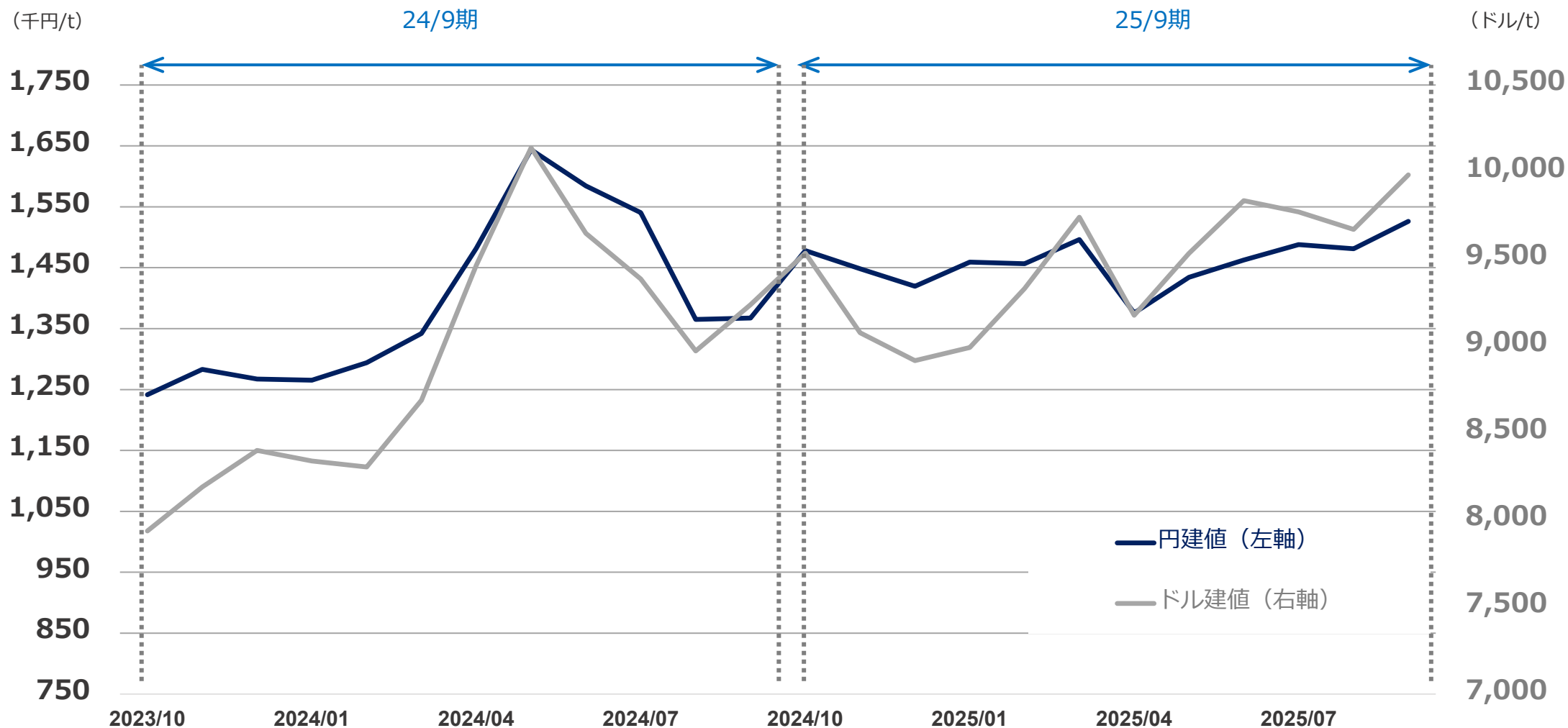
Appendix

金相場推移



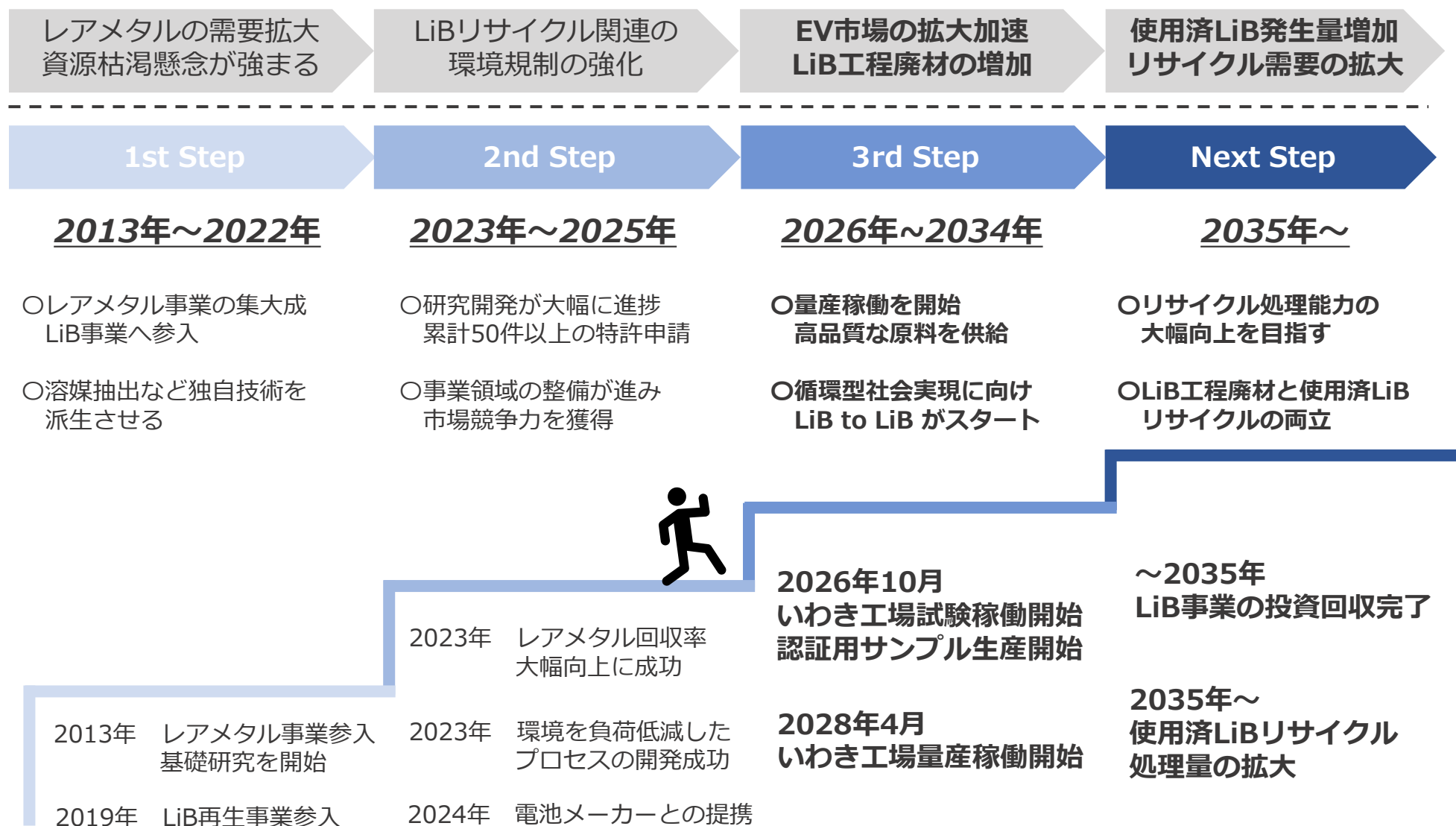
グラフ：田中貴金属工業 月次金価格推移より

銅相場推移



円建グラフ : JX金属 銅建値月間平均推移より
ドル建グラフ : 世界の経済・統計情報サイト 銅価格の推移(月次)より

LiB再生事業のロードマップ



- ✓ 本書には、当社及び当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ✓ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められる会計原則に従って表示されています。既に行っておりまして今後の見通しに関する発表につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ✓ 本書はいかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付の申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。



ASK

株式会社アサカ理研